

校長室だより

No. 2

平成 29 年 4 月 14 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

入学式の保護者の姿に感動

58 名の新入学児を迎え、320 人で新たなスタートを切った六ツ美中部小学校。その入学式の日、心あたたまる光景を目にしました。

今年は入学式の日、昨年 5 年生（現 6 年生）が植えたプランターの菜の花を、中庭に花道として並べていました。（右写真）入学式から



下校まで雨に降られることなくすんだのですが、帰りの頃には風が強く吹き、プランターが何個か倒れていたようです。ちょうど、わたしが各教室の様子を見て回って職員室近くの廊下を歩いていたときに、ふと中庭を見たら、なんと新入学児の保護者（男性）が、この光景に気付いて一つ一つ元にもどしてきていました。なんて素敵な方だろうと思いました。御本人は、わたしが目にしたことなど、御存じないと思います。今年も素敵な保護者に出会いました。うれしくなりました。

教育目標と本年度の重点目標について

本年度も校訓「誠」の下、学校経営方針と本年度の重点目標（裏面）を刷新しました。太字・網掛け部分が、昨年度と変わっている部分です。今回の方針・目標を考えるうえで基盤にしたことは、これまで研究・実践を行ってきたことの深化と、新しい時代に生きる子供に、小学校で今大切にすべきこと・次期学習指導要領を見据え準備すべきこと（新化）を考えたものです。御承知ください。

(1) 本校の教育目標

校訓「誠」の精神を支柱に、「いつもにこにこ元気な子」をスローガンに掲げて、次のようなめざすべき子供像をもって本校の教育目標とする。

- ・ **べんきょうがだいすきな子**（確かな学力の育成）
- ・ **うんどうがだいすきな子**（たくましい体力の育成）
- ・ **ちゅうぶがだいすきな子**（心豊かな子の育成）

(2) 経営方針

- ア 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、課題を解決するための思考力、判断力、表現力等を育むとともに、多様な人との協働を促す教育の充実を図る。
- イ 発達段階を考慮し、運動する機会や時間を確保するとともに、特色ある運動を取り入れながら、適切な体育・健康に関する活動の推進を図る。
- ウ 日本や地域の伝統文化、季節感を大事にし、本物に触れる、体験する、多様な表現・鑑賞活動を充実させ、豊かな心や創造性、郷土を愛する心を育てる。
- エ 次期学習指導要領を見据え、ESDプロジェクトを基盤に、教材、教科、人、地域との「つながり」や「かかわり」を基に、特色ある教育課程の編成を図る。
- オ 保護者や地域の人々に愛され、信頼される学校、地域とともに歩む学校づくりを教職員一体となって取り組む。
- カ 専門職としての自覚をもち、たゆまぬ研修と研究に努め、授業力・指導力の向上を図るとともに、知識・技能・教養を高める。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア べんきょうがだいすきな子を育てる
 - ・正しい姿勢や学習用具の正しい使い方を身につけさせるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る。
 - ・子供のものの見方や考え方、感じ方の理解、「問題を見いだす」、「見通し」、「振り返り」を大切にした問題解決的な単元・授業の構想、知識・技能を活用する単元・授業の構想や環境づくりにより、主体的に学ぶ力を育成する。
 - ・人の話を共感的に受け止め、理解し、考え、表現する対話的な学びを通して、深く学ぶ姿勢を育成する。
- イ うんどうがだいすきな子を育てる
 - ・種目・教材の開発、準備運動の方法や指導方法の工夫に努め、運動に意欲的に取り組む態度とバランスのよい体力を育成する。
 - ・集会や長い休憩時間に、運動に親しむことができる遊びや道具の紹介、環境づくりに努める。
 - ・竹馬、一輪車、縄跳びなどの運動を取り入れ、成果を自覚する場をもつ。
- ウ ちゅうぶがだいすきな子を育てる
 - ・学習内容と育むべき資質・能力を再編成し、岡崎市と中部学区の歴史・伝統・文化を素材とした特色あるカリキュラムの研究・開発を図る。
 - ・地域の人から学ぶ活動や、地域の人とともに行う活動、地域の自然を見つめたり、自然の中で体験したりする活動を大切にする。
 - ・学級活動、委員会活動、兄弟学級・保育園・中学校等との異年齢交流において、子供の主体的、意欲的な活動を展開する。